

## 自然保護体験と地域資源を組合せ、商品化への実現可能性・課題を探る目的で、モニターツアーとして6月～9月に実施。

### 1. 取組のねらい

※企画概要資料より抜粋

利用者目線のモニターツアーにより評価・意見収集し、ツアーとしての実現可能性を探る

エコツーリズム協会が例年実施する、エコツアーアンケート調査結果との比較・分析が可能となり、自然保護体験ツアー実施の課題・難易度から商品化を検討することができる。

#### 【モニターツアーを行う理由】

1. 自然保護体験(実践型)をテーマとしたエコツアーは全国的に事例が少なく、独自性はあるものの継続的な環境&観光の商品となるかは未知数。
2. 地域経済システムとして機能するには、組織体制も必要であるが利益を上げられる・地域に寄与する商品となるかの視点は検討に不可欠。
3. 諏訪湖及び霧ヶ峰の観光ポテンシャルは高いうえ、霧ヶ峰自然保護センターや諏訪湖環境研究センターなど関連施設・ガイド人材はある程度整っている恵まれた環境。

### 3. 取組内容

※企画概要資料より抜粋

#### 諏訪湖(ヒシ刈り)

##### 【開催時期】

6/28(土)・7/27(日)  
[予備:7/5(土)→8/2(土)]



##### 【実施内容】

事前学習→作業→学習→温泉

##### 【活用する地域資源】

カヤック体験、温泉

##### 【期待するアウトカム】

- ・体験以降で作業参加者増
- ・参加者の再来訪

#### 霧ヶ峰(草原整備)

##### 【開催時期】

8/30(土)・9/20(土)



##### 【実施内容】

講習→作業→見学  
(各行程間の交通手配)

##### 【活用する地域資源】

自然保護センター、草原環境

##### 【期待するアウトカム】

- ・体験以降で作業参加者増
- ・参加者の再来訪

各回20名(定員)として募集・実施したところ  
計76名の参加があった。

(最終回のみ天候不良によるキャンセルにより16名で実施)

1

**(結論)参加者の認識変化に繋がり、体験の機会提供による関わり手増加に期待できるものの、課題があり、ツアー形式での実施は難しいため、手段としては検討が不可欠**

### 【参加者像】

- ・参加者年齢層は50代を中心とし、全体的に40代以上が多い
- ・環境に対する意識が高く、旅行先での体験・地のものを好んで楽しむ
- ・情報源はネット以外に、友人知人など人づての情報に期待も

### 【体験効果】

- ・体験により認識変化があり、ボランティアへの参加意思が見られる
- ・全体評価は総じて高かったが、体験作業のみでも評価は高い

### 【ツアーの評価】

- ・金銭評価は平均2,500円前後の評価と、実費7,000円相当と乖離
- ・交通手段の提供は、参加意思へはあまり影響を及ぼさない

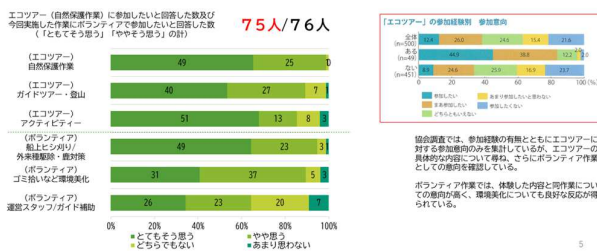
2

実施の様子（上段:第3回目 8月30日／下段:第4回 9月20日）



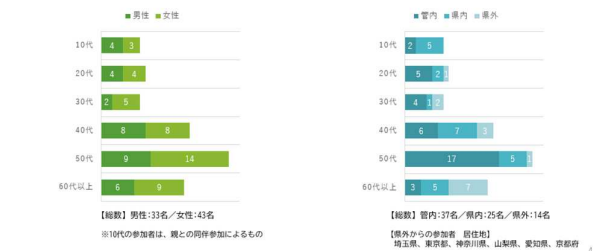
エコツアー・ボランティアへの関心

殆どの参加者が、今後何らかのエコツアーに参加意向を示す。ボランティア作業の参加意思も、積極的な回答となった。



参加者像

地元・県内を中心に告知し、50代を中心に参加があったが体験作業先の告知で知った、県外からの参加も18%超あり。



認識の変化

それぞれの場所に対する認識変化は「とても変わった」55%「やや変わった」37%と、『体験』による効果は見込める。



金銭的評価

諏訪湖・霧ヶ峰ともに実質7,000円の費用を要したものの参加者の金銭的評価は、全体平均2,500円程度となった。

